

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	892
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5051	1	1	担当部課名	市民生活部観光・ふれあい課
				担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	国際交流と地域交流の促進
第1期実施計画の事業名	青少年国際交流事業
財務会計上の事業名	青少年国際交流事業
事業の対象【誰(何)を】	池田市民である中学生から高校生までの学生
事業の手段【どうする(させる)ことで】	夏休みに姉妹都市(ローンセストン市)及びに友好都市(蘇州市)に派遣
事業の目的【どのような結果を得るか】	青少年の国際感覚の育成、姉妹・友好都市との交流継続及び活発化
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	姉妹都市への派遣対象者を、25歳以下から高校生までに引き下げ。これによりプログラムに高校訪問を盛り込むなど、英語学習の機会の充実化を図ることができるようになった。
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		632		757		644		
内訳	人件費(人・千円)	0.30	1,830	0.30	1,840	0.30	1,800	0.30	1,800	100.0%
	正職員	0.20	1,600	0.20	1,600	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.10	230	0.10	240	0.10	240	0.10	240	100.0%
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			2,462		2,597		2,444		2,559	94.1%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		2,462		2,597		2,444		2,559	94.1%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	青少年派遣	人	7	10	8	7	7
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	姉妹・友好都市との交流継続及び今後の国際化や民間交流を担う青少年育成のため必要不可欠な事業である。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	姉妹・友好都市との交流事業の一環であり、市内に対応できる団体が無いため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
応募も多数あり、青少年の国際感覚の滋養に貢献すべく、引き続き実施すべき。	応募も多数あり、青少年の国際感覚の滋養に貢献すべく、引き続き実施すべき。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	885
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5052	1	1	担当部課名	市民生活部観光・ふれあい課
				担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	国際交流と地域間交流の推進
第1期実施計画の事業名	国際交流推進事業
財務会計上の事業名	国際交流推進事業
事業の対象【誰(何)を】	池田市の国際交流事業
事業の手段【どうする(させる)ことで】	池田市都市提携委員会へ補助金を交付し、その予算内で国際交流事業を行う。
事業の目的【どのような結果を得るか】	姉妹都市・友好都市との効率的で柔軟な交流事業の実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	補助額の精査
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市交流団体補助金交付要綱、池田市都市提携委員会規約

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)		2,500		3,000		2,400		2,400	80.0%
	人件費(人・千円)	1.30	4,660	1.30	4,760	1.30	4,670	0.40	2,510	100.0%
内 訳	正職員	0.30	2,400	0.30	2,400	0.30	2,340	0.30	2,340	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.90	2,070	0.90	2,160	0.90	2,160		0	100.0%
	アルバイト	0.10	190	0.10	200	0.10	170	0.10	170	100.0%
	支出合計 A		7,160		7,760		7,070		4,910	91.1%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		7,160		7,760		7,070		4,910	91.1%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	交流事業	回	42	24	18	20	20
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	国際交流団体連絡会の開催	回	1	0	0	0	0
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 昨今の国家間の情勢により、友好都市からの訪日が減少したことによる件数減。姉妹都市とは45周年事業を実施、青少年派遣は両市とも毎年続いており、交流の評価は件数には表れるものではない。連絡会については団体を統括する協議会ができたことにより(H23)、市が主催して開催する必要性がなくなったもの
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 姉妹都市交流・国際交流は特に突発的な事例が多く、また支出内容が細かく多様であるため、市の予算では対応が困難であるが、池田市都市提携委員会が補助金により交流を担うことで、対応が可能になっている。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
地道な交流に基づいた友好関係を維持していくことが重要。	地道な交流に基づいた友好関係を維持していくことが重要。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	908
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5053	1	担当部課名	市民生活部観光・ふれあい課	
				担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	国際交流と地域交流の推進				
第1期実施計画の事業名	多文化共生事業				
財務会計上の事業名	多文化共生事業				
事業の対象【誰(何)を】	在住外国人				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	行政サービスを外国人住民にも同様に提供するためのサポートをする				
事業の目的【どのような結果を得るか】	池田市民として日本人市民と共に地域になじみ、生活できるような環境をつくる				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	通訳ボランティア制度を実施				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		460	404	669	835	165.7%		
人件費(人・千円)		0.00	0	0.15	1,200	0.15	1,170	0.15	1,170	100.0%
内訳	正職員		0	0.15	1,200	0.15	1,170	0.15	1,170	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	0	0	0	-
	任期付短時間勤務職員		0	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員		0	0	0	0	0	0	0	-
	アルバイト		0	0	0	0	0	0	0	-
支出合計 A			460	1,604	1,839	2,005	114.7%			
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		460	1,604	1,839	2,005	114.7%			
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	多言語版生活ガイドの発行	回	1	0	1	1	1
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	行政関連文書の翻訳	回	7	4	5	5	5
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	通訳ボランティア派遣	回	54	19	34	50	60
(4)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	池田くらしの情報誌	回	-	-	6	6	6

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	通訳ボランティアの利用件数が増加した。また、情報誌を創刊し、外国人市民への情報の提供を行った。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	アウトソーシングできる団体が市内に存在しない。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
ボランティアの力を活用して行政サービスの向上を工夫すること。	ボランティアの力を活用して行政サービスを向上させられるよう工夫すること。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	872
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5054	1	1	担当部課名	市民生活部観光・ふれあい課
				担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	国際交流と地域交流の推進				
第1期実施計画の事業名	地域間交流事業				
財務会計上の事業名	地域間交流推進事業				
事業の対象【誰(何)を】	旧池田町を含む全国池田町及び鳥取市との交流				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	池田市地域交流協議会へ補助金を交付し、その範囲で地域交流事業(交流助成など)を行う。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	かつての1市6町による全国池田及び姉妹都市縁組を行っていた鳥取市青谷町との民間交流をサポートする				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	補助金の精査				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		100		100		100		
内訳	人件費(人・千円)	0.20	1,600	0.10	800	0.10	780	0.10	780	100.0%
	正職員	0.20	1,600	0.10	800	0.10	780	0.10	780	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			1,700		900		880		880	97.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,700		900		880		880	97.8%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	交流事業	件	6	6	6	6	6
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 全国池田サミット終了や、青谷町の鳥取市合併にも関わらず、これまでに培われた民間交流は継続しており、これらの支援策は今後も必要である。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 地域の交流という趣旨を鑑みて。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
年々交流件数が少なくなり、交流助成も例年限られた団体のみとなっている。これまでとは異なる事業の実施を検討していく必要がある。	年々交流件数が少なくなり、交流助成も例年限られた団体のみとなっている。これまでとは異なる事業の実施を検討していく必要がある。